

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 加藤 敏昌
幹事 青山 敏郎
会報委員長 小池 宗

No. 13

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは希望をもたらす

1986～87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第207回例会 昭和61年9月30日(火) 晴

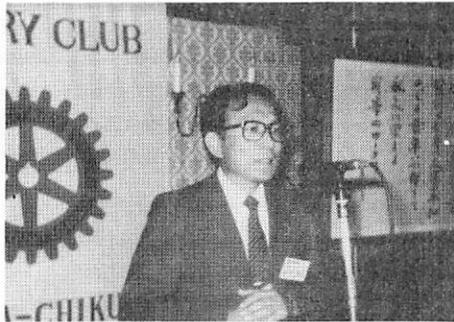
- ◇ “奉仕の理想”
- ◇ 出席報告
会員 56名 出席 48名
出席率 85.71%
前回 9月16日 (修正出席率) 98.21%
- ◇ ビジター紹介 6名
- ◇ お誕生日祝福
林君(9/17)、黒野夫人(9/30)、西川夫人(10/5)、武内君(10/6)
- ◇ ニコボックス
木全 昭二君 武岡先生をご紹介します。
松居 敏二君 9月度ゴルフ会で優勝しました。
斉藤 康二君 父の葬儀にご会葬いただき、ありがとうございました。
水野 民也君 アジア大会のボーリングで金を6つとったのをよろこんで。
10月19日(日)朝、CBCTVで、又お目にかかります。
竹内 真三君 ガバナーズレター№4に拙著の紹介がのりました。気恥ずかしき限りですが、ほんの気持ちとして。
武内 清君 ちょっとよいことがありました。お誕生日祝い。
林 淳三君 お誕生日祝い。
黒野 貞夫君、西川 豊長君 夫人お誕生日祝い。
- ◇ 青山幹事報告
1. 本例会会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方は、2F橋の間にお集まり下さい。
2. 第275地区東京山の手RC(11/26)より認証状伝達式のご案内がきております。参加希望の方は事務局までお申し込み下さい。
3. 斉藤康二君がお父様の御葬儀の件で御挨拶されます。
- ◇ 加藤(敏)会長挨拶

本日は、肺癌についてお話しします。細胞学的には、腺癌・大小細胞癌・扁平上皮癌があります。扁平上皮癌・小細胞癌は、肺門部に多発し、腺癌は、肺周辺に発生します。このうち、ある種の癌は、抗癌剤・放射線治療にも強く抵抗し、全く、手の施すすべもありません。それら、肺癌の最大の原因は、皆様の御承知の通り喫煙による事は明らかです。喫煙により、自ら要因を作ります。嫌煙権・喫煙権、色々ありましようければ、少なくとも自分自身の健康は勿論、他人に迷惑を掛ける事になりますので、お止めになったら如何でしょう。癌の進行度は、四つに分かれますけれど、第四に属するものには、全く手の施しようがありません。第三に属するものは、縦隔洞組織は勿論、心臓の一部をも含めて摘出する事がありますが、その予後は非常に悲惨です。喫煙は(1日の本数×年数)が、600以上の場合、Highriskとして考えられています。更に、喫煙を始めた年齢も関与しています。一方、喫煙を中止すれば、大体3年から5年の間に非喫煙者と同じriskになると言われています。皆さんは、肺癌の末期患者を直接御覧になっていないので、その悲惨さがお分りにならないでしょうけれど、君子危ふきに近よらずと申します。よくよくお考えになって、強固な意志で是非お止めになって下さい。理事会では、禁煙を2カ月続けています。例会場でも是非、喫煙を中止しようではありませんか。これを施行すれば、1番困るのは私自身です。皆さんの御賛同を得れば、次回より、灰皿は撤去します。どうしても耐えられない方は、例会場に入る前に、口に5、6本くわえて吸ってから来て下さい。肺癌を取るか、喫煙を取るか、特に私に申し出がなければ、次回より早速実行させていただきます。

◇講 演

“ボリビアでの国際協力をふりかえって”
名古屋大学助教授 農学博士

武岡 洋治 先生 (紹介 木全君)



今年の3月までの1年間、私は国際協力事業団(JICA)の派遣により南米ボリビアで農業技術協力の仕事に携ってきた。

スークレにある大学の農学部で研究と教育の体制を整備改善するのが主な仕事であったが、帰国して今、日本とボリビア両国の違いというものを改めて痛感している。

それは、「物」と「心」の豊かさの点に最もよく現われているように思う。

中南米諸国がそうであるように、ボリビアという国も日本ではあまり知られていない。と同様に、日本という国もボリビアでは氾濫する日本製品以外確かな情報はきわめて乏しく、この国の有力新聞にもわが国の記事が載ることはあまりない。

このように相互の理解が不十分な状況の下では、一部の情報が全体のイメージとして印象づけられてしまいがちである。このことを私は現地で経験した。つまり、日本の製品の性能の良さを見てボリビア人たちはわが国の技術水準の高さはもとよりのこと、日本の社会、日本人の心までもが全て豊かで平和で何も問題がないと思っている。事実、私の友人たちは日本には衣食はいないと思っているし、サラリーマンや若者、中学生に自殺が増えていることなどは、信じがたいことなのである。

出張で首都のラパスへ行ったときに日本から送られてきた新聞を読んで、いじめ、自殺、殺人の記事の多いのに暗然としたのを今も覚えている。ボリビアのような赤子を悩む国にいと、国際貿易黒字がうなぎ昇りに増えていくこととこうした現象が多発することとはどうしても結び難く思われるのである。物質的な貧しさが主因であるならばボリビアでいじめや自殺が日本の何十倍も激発する筈である。だが事実はそうではない。

比較的日本を良く知っているある教授は、「日本は人々の精神や生命を犠牲にしてばかり大きな黒字をため込んでいるのではないかと

私に言った。彼の給料は私の数分の一にすぎないが、彼の暮しぶりは日本の一般的な国立大学教師よりずっと大らかでゆったりしている。家に広い菜園をもち土日の週末はせっせと作物づくりに励んでわが家に必要な野菜はほぼ自給している彼らの生活は、質素な中にもまことに健康的である。帰国以来毎日のあわただしさの中でストレスがたま一方の私は、何が人間の幸せ、豊かさなのか考えこまされている。ボリビアは日本より何十倍も貧しく飽衣飽食ではないが、彼らにはきんきんと降り注ぐ太陽のもと自然の恵みを満喫する大らかさがある。たとえ貧しくともそれにへこたれないラテンアメリカ人の陽気な図太さがある。事態が好転しなくてもじっと待つ悠長さがある。彼らは貧しいが「豊か」だ。豊かだが「貧しい」のが今の日本人といえないだろうか。

一 職業奉仕賞(優良従業員)授賞者名 一
(昭和61年10月7日)

事業所名	役 職	勤続年数	表彰者名	年齢
名古屋市信用 農業協同組合	参 事	41	森田 鎬性	57
	開発部	36	須崎 春夫	51
柳魚津社寺 工務店	宮大工	28	館 松吉	67
	事務員	15	木村三四子	56

敬称略

◇9月度理事役員会

1. 新入会員候補者承認の件
2. 千種区制施行50周年記念事業実行委員会の件
実行委員会参加承認。
3. 青少年交換学生の件
国際奉仕委員会より支出する事を承認。
4. 財団寄付の件
財団月間にて委員長よりPRする。
5. その他
 - 次年度理事役員「指名委員会」の件
 - 五周年記念事業の件(千種区制施行50周年記念事業と合せて)
 - 「ロータリーの友」卓話の泉欄投稿の件
 - 昨年11月、ロングビーチRCへ提携証を交換するように送りましたが、いまだにもどっておりません。理事会において、姉妹提携は成立できないと判断しました。

◇次回例会(10月7日)

講演 “日本の礼服”
株式会社 上原洋服店 取締役社長
上原 駿一 氏 (紹介 寺澤君)
(東京西RC会員)

◇次々回例会(10月14日)

名古屋大学大学院博士課程2年
呉 賛鎬 君
(紹介 水野(賀)君)